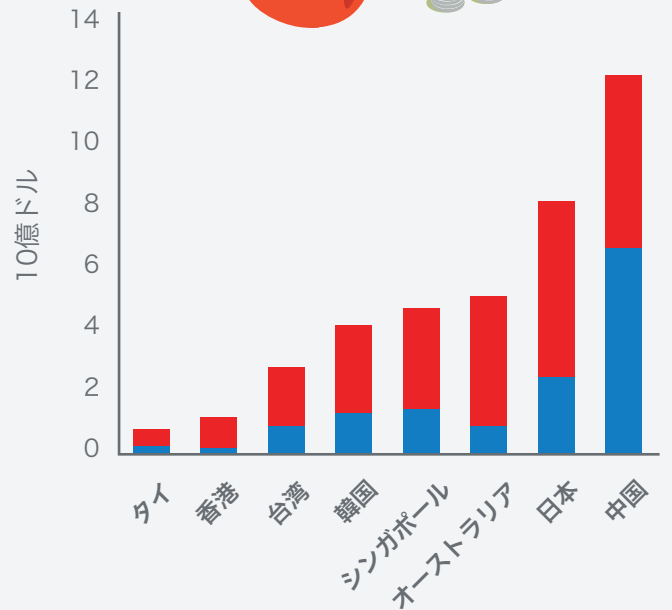
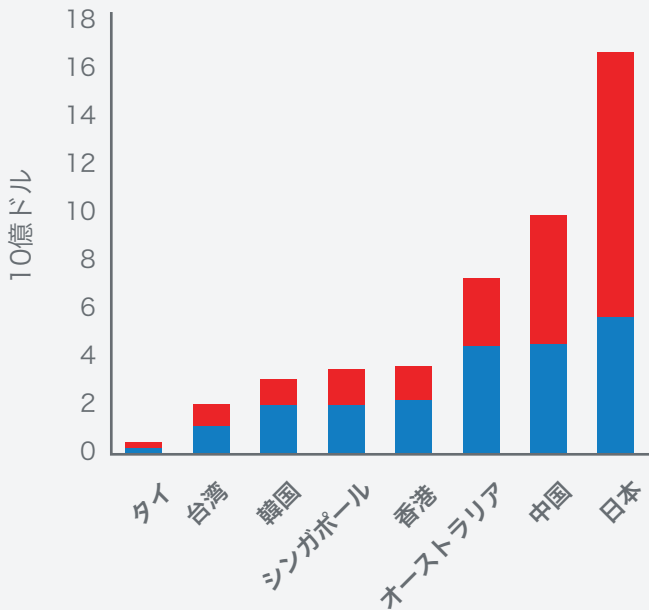
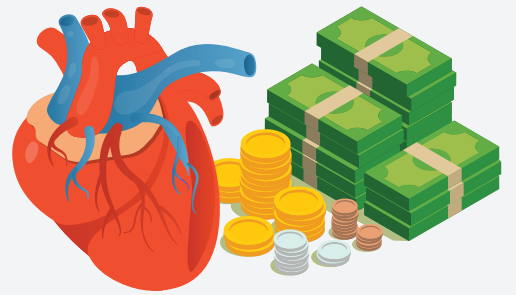


心血管疾患の再発予防に向けたアジア諸国の取り組み

心血管疾患（CVD）は全てのアジア諸国で二大死因となっており、患者数も増加の一途を辿っている。またアジアでは、若年層のCVD患者・高齢者層の合併症患者が並行して増えており、医療体制にさらなる負荷をもたらしている。

人口動態の変化とCVDがもたらす負荷

虚血性心疾患[左]・脳卒中[右]の年間直接費・間接費（推計・単位:10億ドル）

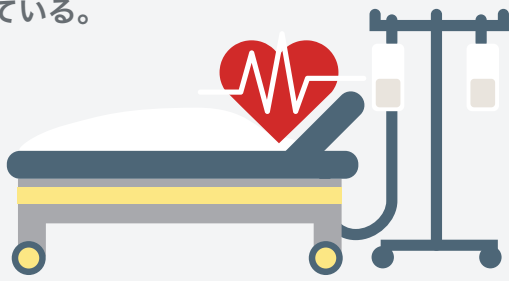


■ 間接費
■ 直接費

■ 間接費
■ 直接費

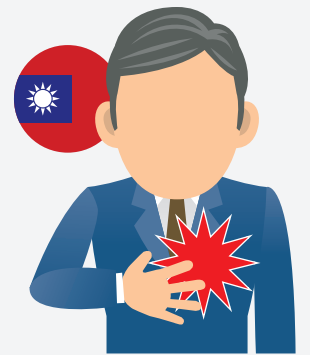
資料：EIUによる推計

CVDは対象国*における死亡者数の**22~42%**を占めている。



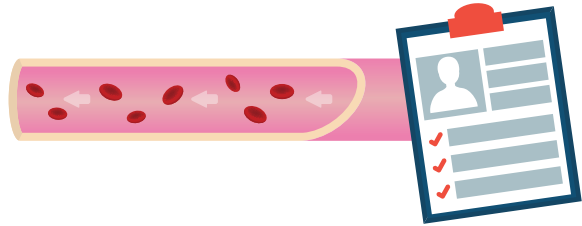
近年アジアでは、若年層のCVD患者が急増。

台湾では2009~15年にかけて、55才以下の心臓まひ発症者が**30%**増加した⁸³。

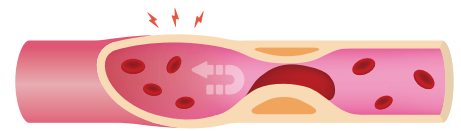


* 本調査の対象国：オーストラリア・中国・香港・日本・韓国・シンガポール・台湾・タイ
⁸³ Younger people suffering heart attacks, doctors say," Taipei Times, 28 April 2019.

心血管イベントの再発がもたらす負荷



心筋梗塞・脳卒中患者の**25~33%**は発症経験者



再発予防に向けた取り組み

依然として多く見られる課題：

国レベルのCVD政策

国レベルの政策がある国は対象国**8カ国中わずか2国**



改善可能なリスク因子の管理

全ての対象国は食生活改善、アルコール過剰摂取、運動不足の解消に取り組んでいる。たばこ対策は依然として課題。



リハビリサービスの紹介制度

患者全体の**50%**はリハビリサービスを紹介されない。サービス利用率は**わずか6%**。



二次予防の強化に向けた優先課題：

データ活用と成果評価の仕組み

- 患者レジストリの拡充を通じた政策評価
- 電子カルテの活用を通じたデータ統合
- サービスの質向上に向けた評価・監視体制



患者中心の包括・連携医療

- 一次医療の強化と三次医療との連携促進
- 個別化医療の推進



患者エンパワーメント

- 患者教育の推進と国民レベルの認知向上
- テクノロジー活用を通じた患者の治療参加拡大

